

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)
13	一般的な慢性期呼吸器疾患の理学療法評価・治療について学習する。「担当: 新任教員」	講義、討論、GW	0
14	一般的な慢性期呼吸器疾患の理学療法評価・治療について学習する。「担当: 新任教員」	講義、討論、GW	0
15	急性期呼吸器疾患の理学療法評価・治療について学習する。また酸素療法・人工呼吸療法・周術期における理学療法について学習する。「担当: 甘利」	講義、討論、GW	0
16	急性期呼吸器疾患の理学療法評価・治療について学習する。また酸素療法・人工呼吸療法・周術期における理学療法について学習する。「担当: 甘利」	講義、討論、GW	0
17	医学的情報(動脈血液ガス、呼吸機能、画像診断など)の評価について学習する。「担当: 田中」	講義	0
18	医学的情報(動脈血液ガス、呼吸機能、画像診断など)の評価について学習する。「担当: 田中」	講義	0
19	呼吸不全および COPD の疫学、病態、医学的治療について学習する。「担当: 田中」	講義	0
20	呼吸不全および COPD の疫学、病態、医学的治療について学習する。「担当: 田中」	講義	0
21	各呼吸器疾患の理学療法プログラムの立案について学習する。「担当: 新任教員」	講義、討論、GW	0
22	各呼吸器疾患に対する理学療法の復習し、模擬症例に対する理学療法評価、リスク管理、治療プログラムをレポートとして作成する。「担当: 新任教員」	講義、討論、GW	0
23	循環器、呼吸器疾患に対する理学療法の復習をする。「担当: 甘利」	講義	0
試	定期試験 到達度評価・評価のポイント参照		

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	20	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	講義で使用した配布資料や教科書をもとに、理解度を問う定期試験を行い評価する(筆記試験、80点満点)。問題形式は選択式とする。	必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	第8・22回では、提示された症例に対する問題点を考え、評価・介入・リスク管理を考察し、それぞれレポートとして提出する。レポートは20点満点で、思考力・問題解決能力を評価する。	必要に応じてルーブリックによるレポートの採点結果を提示し、フィードバックする。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
備 考			
他 担 当 教 員	大塚 篤也、田中 一正、新任教員		
教員の実務経験	総合病院で心疾患、呼吸器疾患、代謝疾患患者のリハビリテーションに従事。		
実践的授業の内容	実際に担当した症例を提示し、講義内容と照らし合わせて、症例を通して学んだ評価や治療の視点・工夫などを示すことで学生の理解度を深める。症例を特定できる個人情報提示しない。		
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> *非常勤講師の都合により、日程の変更の可能性がある。 変更がある場合は、随時掲示板または授業時にアナウンスする。 *実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。 *全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業の参加は認めない。 今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。 		